

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	M.K	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	4年	派遣国	ドイツ
派遣大学	ゲーテ大学		
期間	2022年 7月 30日～ 2023年 7月 28日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 (33,000 (途中から 36,000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (30) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	15,000 円	
学用品購入費	1000 円	
交通費	5,000 円	学期始めに Semester チケット代として支払うため
交際費	5000 円	
その他	30,000 円	保険代や携帯代, 消耗品
合計	55,000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

寮のある地域は比較的静かで治安は良いです。しかし、Frankfurt の中央駅は薬物をやっている人が多かったりと、なり治安が悪かったです。夜は一人で絶対に歩きたくない地域でした。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(12) ヶ月間	保険料	(125,230) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	TK		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(18,480/月) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (**フランクフルト**)

ドイツのなかでも有数の金融都市で、比較的都会な雰囲気を持っている都市です。市の中心エリアには Go Asia という大きなアジアマーケットや日本食屋さんも多くあります。また、大きなショッピングモールも何個かあり買い物をするのには困りません。しかし、上記にも記載した通り、中央駅の周辺はかなり治安の悪い印象を受けました。地下鉄なども大使館から注意するように指示がきたりと、全体を通して治安が良い印象は受けませんでした。また、フランクフルト国際空港もあるため旅行をするのには非常に便利だった。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ゲーテ大学	所在地	Senckenberganlage 31 · 60325 Frankfurt
最寄空港	フランクフルト国際空港	空港からの距離	5 km
空港⇄大学	S-Bahn, Tram、バス) *移動手段		
学生数	48,000	留学生数	7,600
学部	Law, Economics and Business Administration., Social Sciences., Educational Sciences., Psychology and Sports Sciences., Protestant Theology., Roman Catholic Theology., Philosophy and History., Faculty of Linguistics, Culture, and Arts., Modern Languages., Geosciences and Geography., Computer Science and Mathematics., Physics., Biochemistry, Chemistry and Pharmacy., Biological Science., and Faculty of Medicine.		
学部/専攻	Social Sciences *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (10)月～(2)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前			AkadeMi A		AkadeMi A
午後			政治学 14:00 – 16:00 社会学 17:00 – 20:00		

② (4)月～(7)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後			デストピア AkadeMi B	AkadeMi B	

3. 履修内容

科目	AkadeMi A		
履修期間	10 月中旬～2 月中旬	単位数	9
授業内容／形態	留学生向けのドイツ語を学ぶ授業。対面、ゲームや会話が中心の授業。学期前に受ける placement test の結果をもとにして、A～D レベルのクラスに割り振られる。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	AkadeMi B		
履修期間	4 月中旬～7 月中旬	単位数	9
授業内容／形態	留学生向けのドイツ語を学ぶ授業。対面、ゲームや会話が中心の授業。学期前に受ける placement test の結果をもとにして、A～D レベルのクラスに割り振られる。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Propädeutikum Soziologie		
履修期間	10 月中旬～2 月中旬	単位数	3
授業内容／形態	社会学の核となる概念と理論の伝統を理解し現代社会に適用することを目的とする 200～300 人ほどの授業。教授がスライドを使って授業を進める。対面。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Einführung in die Politische Theorie		
履修期間	4月中旬～7月中旬	単位数	3
授業内容／形態	政治理論と哲学の古典著作を概観する政治理論の入門講座。 教授がスライドで授業を進める。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	M・K	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	4	派遣国	ドイツ
派遣大学	ゲーテ大学		
期 間	2022年 8月 30日～ 2023年 7月 28日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	AkadeMi A
講義内容	留学生向けのドイツ語を学ぶ授業。対面、ゲームや会話が中心の授業。 学期前に受ける placement test の結果をもとにして、A~D レベルのクラスに割り振られる。
科目	AkadeMi B
講義内容	留学生向けのドイツ語を学ぶ授業。対面、ゲームや会話が中心の授業。 学期前に受ける placement test の結果をもとにして、A~D レベルのクラスに割り振られる。
科目	Propädeutikum Soziologie
講義内容	社会学の核となる概念と理論の伝統を理解し現代社会に適用することを目的とする 200~300 人ほどの授業。教授がスライドを使って授業を進める。対面。
科目	Einführung in die Politische Theorie
講義内容	政治理論と哲学の古典著作を概観する政治理論の入門講座。 教授がスライドで授業を進める。
科目	
講義内容	
科目	
講義内容	

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

私は11か月の留学を通して、本当に多くのことを見て感じて学び成長することができたと思います。もちろん、留学中には不安なことや上手くいかないことも多くありました。自分の社交性のなさに絶望したり、日本では自信のあった語学力も全く歯が立たなかったりと悩みの種は尽きませんでした。しかし、留学が終わったいま、それらを振り返ってみればどんな悩みも楽しみや成長の前段階であったのだ、と思えます。また、何事も完璧である必要はない、ということも学びました。

留学当初はクラスメイトとの会話にあまり参加できず、質問されたら返すことはできるが自分から話の話題を広げることができませんでした。交友関係の輪を広げるのも一苦労で、常に自分の語学力に自信が持てず会話の傍観者としてその場にいただけの時もありました。しかし、友人の一人が「なんで喋らないの?」とド直球に傷口に塩を塗るような質問をしてくれて、そこで自分の語学力に自信がないこと、他人からどのように思われるのか気にしてしまうことを、相談したことがありました。イタリア人の彼女は、「そんなのどうでもいい、ゆっくりでもいいし間違ってもいいからとりあえず話してみよ!私だってイタリアのアクセントが抜けないし完璧な英語なんて全然しゃべれないのよ」と、言ってくれました。この出来事以来、相手に自分の語学力についてどう思われるかなんてどうでもいいというマインドで、間違いを気にせず、時には支離滅裂な文法でもいいから自分から会話の中に入っていくことができ、不完全な状態でもコミュニケーションが取れてその場で楽しさを感じることができるようになりました。

何事も人前に出るときはある程度完璧な状態でないといけないと思っていました。体系も語学力も何か社会のなかで理想とされるものがあるってそれに少しでも近づいていないといけないと勝手に思っていました。しかし、ドイツに留学して色々な国の多様な価値観を持つ留学生と交流していくうちに、「ああ、完璧である必要なんてないんだな。今の自分をまずは自分が認めてあげて、自分の理想に近づくために不完全を晒してもいいんだ。」と自然と思う様になりました。

この11か月の留学を経て、語学や学術的に新しき身に付いた知識や考え方ももちろんたくさんあります。しかし、自分が留学に行って良かったと思えるのは、「不完全でもいい!」と思えるようになったことです。もちろん将来に描く理想はありますが、そこに近づくために常に完璧でなくても、その不完全さを自分自身で容認しながらもがいて進んでいってもいいのだと今は思えます。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

ドイツに留学を決めた理由は、自分と同世代の若者が社会に対してアクティブなアプローチをしているのを自分の目で見たいと思ったからでした。留学中に本当に多くのことを見聞きすることができたと思っています。これは私のこれからの一社会人としての在り方にも影響を与えるものでした。今後はもっと、自分の外の世界に積極的に関わりを持っていきたいと思っています。

また、留学中に培った英語とドイツ語をさらに磨いて今後の自分の武器にしていきたいと思っています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

Ginnheimer Landstraße の寮には WI-FI 完備と書いているが、ルーターがないため現地調達するかそれまでの間は隣人にネットワークを共有してもらう必要がある。

学生ビザの取得のための外国人局の予約はなかなか取れず、留学期間が短い人はビザが取れる前に帰国、という例もあった。なので、渡航前にネットから外国人局の予約をとったほうが、EU 内の旅行等に便利である。